



丹波市立吉見小学校だより **令和7年度**
吉見小だより **最終号**



吉見小HP:上のQRコードよりご覧ください



ありがとう 吉見小学校



令和8年3月28日に閉校式があり、丹波市立吉見小学校は、152年の歴史に幕を閉じました。長年にわたり、本校の教育活動にご理解とご協力ご支援を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。

令和7年度 学校教育目標「自律・共感・協働」

〔自律〕自分で考えて行動する

〔共感〕相手の立場に立って考える

〔協働〕みんなで目的を達成する



閉校のごあいさつ

本日ここに、長年にわたり地域とともに歩んでまいりました本校の閉校式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、歴代校長先生をはじめ諸先生方、卒業生の皆様、保護者・地域の皆様、そして、本日の開催に向けご尽力いただきました丹波市教育委員会、並びに関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

本校は明治六年、明倫小学校として開校いたしました。以来、幾多の名称変更や校舎の新築・移転を重ね、時代の変遷とともに歩みを進めてまいりました。平成十六年には、丹波市立吉見小学校となり、現在は、百五十二周年を迎えております。

さて、ご参列の皆様、思い出してみてください。小学生の頃のご自身の姿を。元気に学び合い、語り合う姿を。校舎や、給食、プール、体育館の光景とともに、生き生きとした笑顔が、浮かび上がったのではないのでしょうか。児童の皆さん、大丈夫です。閉校はしますが、ここにおられる方々のように、吉見小学校で頑張ったことや楽しかった思い出は消えることはありません。ふるさと吉見小学校は、みなさんの心の中に残り続けることでしょう。

古い書物をひも解きますと、白鳳時代の三ツ塚遺跡が残る、伝統・文化の息づくこの地域・学校で、明治・大正・昭和と、いつの時代も地域との連携を大切にしながら、知徳体のバランスと、生きて働く力の育成をめざした教育活動を行ってきたことがうかがえます。自主性・社会性・創造性

は、今も昔も変わらぬキーワードです。開校九十周年には校歌を新調し、百周年にはMBS音楽コンクールで優良賞を受賞するなど、音楽を通じた取組にも明るい学校でした。

そのような流れもあってか、昭和五十五年には、地域の方のご寄贈により金管楽器を購入し、演奏を開始いたしました。以来、金管バンドは本校の誇りとして受け継がれ、地域の行事や式典で演奏を披露し、多くの皆様に喜びと感動を届けております。本日、オープニングでお聴きいただいた音色と、子どもたちの姿はいかがだったでしょうか。

そして令和五年、吉見小学校と鴨庄小学校は統合し、新たな一步を踏み出しました。子ども最優先の統合で、名称等変更することはありませんでしたが、それぞれが大切に育んできた伝統や文化、教育実践を尊重しながら、学校を創ってまいりました。鴨庄太鼓の伝承もその一つです。子どもたちは新しい仲間とともに切磋琢磨し、たくましく成長しております。

こうした歩みは、常に寄り添い、支え、見守ってくださった地域の皆様のご理解とご協力があったからにほかなりません。「できることあったら言うてよ」「子どもたちのあいさつに、元気をもらとるで」など、日々、前向きなお言葉をいただきます。その都度、吉見地域・鴨庄地域に愛され、地域に育まれた、地域とともにある学校の絆を感じ、心から感謝しております。

さらに来年度には、三輪小学校と統合いたします。吉見地域・鴨庄地域、そして美和地域が手を携え、それぞれの良さを調和させながら、新たに市島小学校を創ってまいります。三つの地域の教育への情熱、子どもたちを思う心、地域ぐるみで支える風土が一つになるとき、そこにはこれまで以上に豊かで力強い学びの場が生まれることでしょう。吉見小学校の閉校はさみしいことではありますが、未来に続く出発点です。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、これまで本校を支え、育んでくださいました来賓の皆様をはじめ、すべての皆様方に、心から御礼申し上げます。笑顔に満ちた市島小学校の未来を信じるとともに、吉見地域・鴨庄地域の皆様のご多幸を祈念し、閉校のあいさつといたします。



令和八年三月二十八日

丹波市立吉見小学校
第三十四代校長 谷川知美



素敵な閉校イベントを開催いただき、ありがとうございました。